

令和5年10月31日

調布市長 長友 貴樹 様

調布市せんがわ劇場
指定管理者候補者選定審査委員会
委員長 上原 宏

調布市せんがわ劇場指定管理者候補者選定審査委員会の審査結果
について（報告）

このことについて、調布市せんがわ劇場指定管理者候補者選定審査委員会（以下、「選定審査委員会」という。）は、調布市せんがわ劇場における令和6年4月1日から令和11年3月31日までの指定管理者候補者を審査しましたので、その結果について下記のとおり報告します。

記

1 審査結果

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団を指定管理者候補者として適正であると認める。

2 審査経過

調布市せんがわ劇場（以下、「せんがわ劇場」という。）の指定管理期間が令和6年3月31日で満了するため、指定管理者に係る事務処理方針第4第5項のイに基づき、公募によらない方法として、現指定管理者である公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団を指定管理者候補者と

して選定を行うことといたしました。これにより，同方針第4及び第5項第2号により，選定審査委員会を設置し，以下の審査を行いました。

(1) 第1回選定審査委員会 令和5年10月18日（水）

指定管理者制度及びせんがわ劇場，公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団の概要の把握，せんがわ劇場指定管理業務仕様書及び選定審査基準の検討等

(2) 第2回選定審査委員会 令和5年10月30日（月）

選定審査基準の決定，プレゼンテーション審査，審議

3 付帯意見

(1) 地域との連携の充実について

これまで培ってきた地域と連携した取組の成果を踏まえ，仙川地域の特性を生かした事業の充実を図ること。また，地域の人材が活躍し，劇場と地域が多彩につながる取組を通じて，市民が身近に舞台芸術を楽しむことのできる地域に根差した劇場運営を図ること。

(2) ノウハウや専門性を生かした事業展開について

「調布市せんがわ劇場運営プラン」に基づき取り組んできた市民参加や地域連携，アウトリーチ事業をはじめとする子ども達の参加機会の確保などの取組における成果と課題を踏まえ，多様なニーズを捉えながら，市民が文化芸術に触れる機会の更なる充実を図ること。

また，引き続き，質の高い文化芸術振興を担う人材の確保・育成を進めるとともに，文化・コミュニティ振興財団が培ってきたノウハウや専門性を生かし，芸術性・創造性を高めながら，調布のまちの魅力向上につながる事業展開を図ること。

(3) 文化施設3館の計画的な連携について

文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場の文化施設3館を一体的に運営する利点を最大限に生かし，文化芸術活動団体との交流を一層促進しながら，各施設の特性を踏まえた計画的な事業の連携を図ること。仙川地域はもとより，市内全域での事業を推進することで，市内の文化芸術の更なる発展に取り組むとともに，効果的・効率

的な施設管理運営や人材育成に努めること。

また、施設の管理運営や事業に関する取組実績について、市民へのわかりやすい情報発信に努めるとともに、社会環境の変化などを的確に捉えながら、必要な見直しや改善を図り、サービス向上に取り組むこと。

(4) 市の施策との連動について

共生社会の充実に向けた取組や国際交流・多文化共生をはじめとする市が推進する施策や課題に対し、柔軟かつきめ細かな連動を図る視点を持って、指定管理者としての経験を生かした創意工夫や効果的・効率的な対応を提案するなど、主体的に取り組むこと。

併せて、市の「パラハートちょうふ」の理念の下、当事者の視点を取り入れながら、誰もが文化芸術に親しむことのできる環境づくりを期待する。

また、市民の安全・安心の確保につなげるため、市と締結した災害時協力協定に基づき、災害時における体制を整備すること。

以上